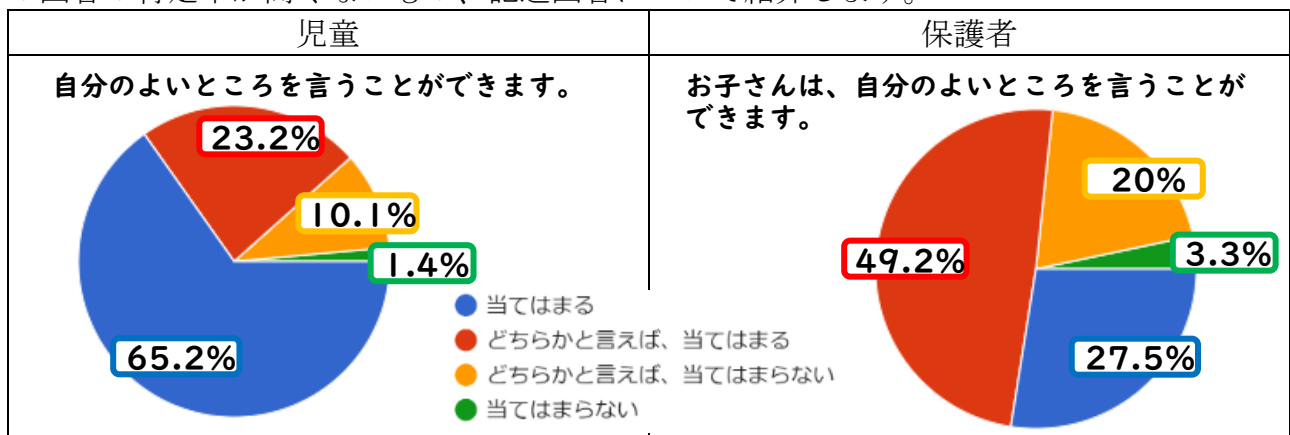


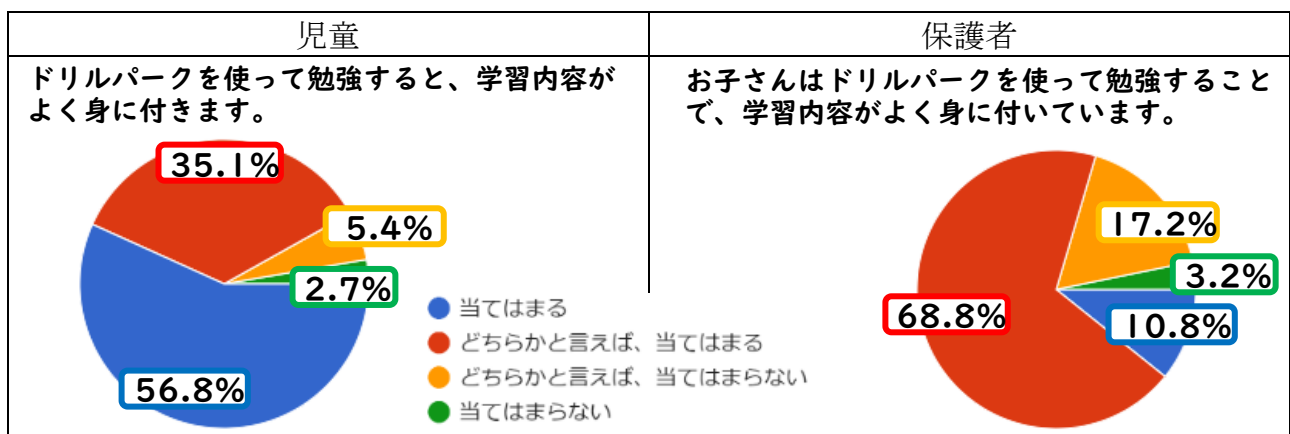


学校アンケートの結果より

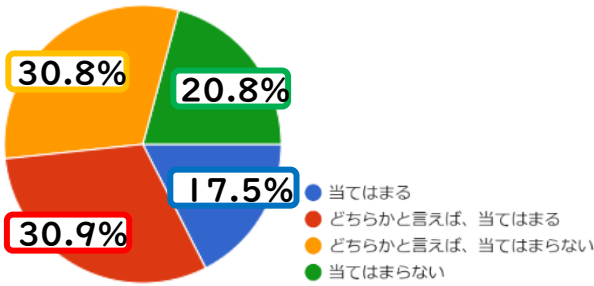
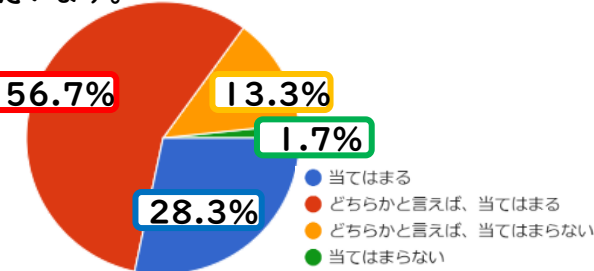
学校アンケートへの回答、ありがとうございました。結果をもとに職員で話し合い、今後の教育活動について考えました。児童と保護者の回答に大きく差があったものや保護者の回答の肯定率が高くないもの、記述回答について紹介します。



(学校から) 児童の肯定率(「当てはまる」と「どちらかと言えば当てはまる」の割合)が昨年度より上がっています。しかし、保護者の肯定率は児童を下回り、お子さんが自分のよさを実感できていないのではないかと考えている保護者の方が多いことが分かります。担任や出入り授業の教員、たてわりグループの担当の教員など、複数の視点から子どもたちのよいところを伝え、子どもたちがよいところを自覚して自信をもって学校生活を送れるようにしていきます。御家庭でも、お子さんのよいところをたくさん伝えていただきたいと思います。



(学校から) 児童と保護者の「当てはまる」の割合に最も大きな差が見られました。タブレットの宿題だと取組の様子がよく見えないことや、一緒に宿題を進めることが難しいなどの御意見もありました。ドリルパークの進み具合を見る方法を学校から紹介していきます。書く方がよい内容はプリントなども併用していきます。

保護者	学校から
<p>お子さんは、進んで本を読んでいます。</p>  <p>● 当てはまる ● どちらかと言えば、当てはまる ● どちらかと言えば、当てはまらない ● 当てはまらない</p>	<p>毎週金曜日の朝の時間が読書になっています。その他にも、テストが終わって時間ができたときなどにも読書をするように呼びかけていきます。2学期から子どもたちが読んだ本の題名を記入する「読書ファイル」を毎月持ち帰ります。1か月間でどのくらい本を読んでいるのか御家庭で確認し、お子さんと読んだ本について話題にしてみてください。</p>
<p>お子さんは、自ら実行しながら生活していると思います。</p>  <p>● 当てはまる ● どちらかと言えば、当てはまる ● どちらかと言えば、当てはまらない ● 当てはまらない</p>	<p>肯定率が昨年度より上がっています。進んで行動できる子や、自分の行動にどんな理由があるのか伝えられる子が何人か見られますが、今後更に増えていってほしいと願っています。子どもたちが自分で判断する場面を意図的に設定し、自分で考えて、そのときにできる最善の選択ができるように支援していきます。</p>

<記述回答より>

内容	学校から
<p>幼小中一貫教育について 保幼こ小、小中の連携について</p>	<p>入学後間もない時期など、心配なことがあれば連絡ください。園や保護者の方からの情報をもとに子どもたちの理解を深めていきたいと考えています。小学校卒業後についても同様に、スムーズな中学校生活が送れるように、子どもたちの情報を中学校に伝えています。</p>
<p>熱中症対策、暑い時期の学校生活について</p>	<p>各家庭で暑さ対策へのさまざまな工夫をしてくださり、ありがとうございます。学校でも熱中症指数を計測しながら、子どもたちが安心、安全に過ごせるように対策していきます。心配なことがあれば、学校まで連絡ください。</p>
<p>お便りの配信方法について</p>	<p>学年だよりや下校時刻の一覧表などのお便りをコドモン「資料室」からファイルをダウンロードできるような方法を考えていきます。準備が整いましたら、連絡いたします。</p>
<p>今年度の日課について</p>	<p>今年度から、月曜日と金曜日が毎週5時間になりました。火、水、木曜日の朝のぐんぐんタイム15分を授業として行い、授業時間数を確保しています(15分×3回で授業1時間分)。総時間数では昨年度と大きく変更はありません。</p>
<p>今年度の集団下校について</p>	<p>今年度から集団下校は毎週行わず、学期始めや学期終わり、必要に応じて行うようになりました。どの学年も下校時刻に教室を出れば、集団下校をしなくても下校する時間が同じくらいになり、同じ時間に歩いて帰ることができるのではないかと考えています。</p>

※日課や集団下校についての今年度からの変更について、年度当初にお伝えしていなかった点があり、申し訳ありませんでした。